

令和7年度 学校における働き方改革の取組

防府市立国府中学校

【教師の業務だが、負担軽減が可能な業務について】

- 1・2学期末の成績処理・通知表作成のため、5校時日程の日を16日程度設定した。(R7)
- 学年末の成績処理・通知表作成のため、4校時日程の日を12日程度設定した。(R7)
- 教科モジュール「学習タイム」による指導時間を、総授業時数に組み入れた。
- 年間総授業時数が標準時数から大きく上回らないよう、予備時数を厳正に管理した。
- 4月の家庭訪問を廃止した。(R4～)
- 保護者からの欠席連絡の受付をデジタル化(Googleフォーム)した。(R4～)
- 学校評価アンケートなど、様々なアンケート調査をデジタル化(Googleフォーム)した。
- PTA総会資料など、保護者へのお知らせを、部分的にデジタル化(マチコミ)した。

【学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務について】

- 火曜日・木曜日の清掃活動を取りやめ、終業時刻を30分前倒しした。(R6～)
- 運動部は夏の選手権大会終了後(6～8月)、文化部は11月から地域クラブに完全移行する。
(R7)

【基本的には学校以外が担うべき業務について】

- 放課後や休日における学校外の生徒間のトラブル(SNSを含む)については、基本的に保護者の責任として、まず家庭で指導するようお願いした。(R7)

【その他】

- 教員一人ひとりの時間外在校等時間の状況や前年度からの推移を可視化できる個票を学期ごとに作成・配付し、気づきを促した。(R7)
- 定期テスト週間を中心に、学校の電話を16時30分に留守番電話に切り替え、教職員も定時に業務終了するよう努める「定時退庁日」を20日程度設定した。(R7)
- 職員朝礼の内容は、グループウェアに記録し、情報共有手段の簡素化を図った。(R7)
- 職員会議の配付資料は、原則、ペーパーレス(PDF)とした。
- 年度末に業務改善会議を行い、効率化の観点から教育活動の見直しを図る。(R7)